

都市再生整備計画 事後評価シート
四街道駅周辺地区




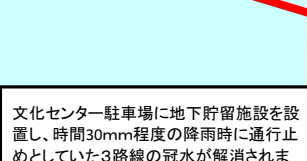
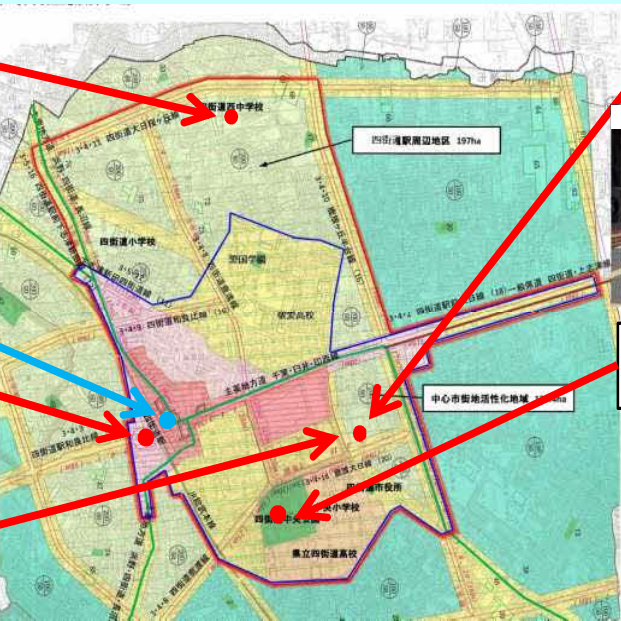



令和4年3月

千葉県四街道市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	四街道市	地区名	四街道駅周辺地区			面積	197ha				
交付期間	平成27年度～令和元年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	880.4	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】四街道駅北口広場再整備事業 【地域生活基盤施設】文化センター駐車場地下貯留施設設置事業・文化センター改修事業・四街道西中学校地下貯留施設設置事業・四街道駅北口広場歩行者デッキ整備事業 【高質空間形成施設】四街道駅北口広場エレベーター設置事業・四街道駅南口エレベーター設置事業・四街道駅北口シェルター、ベンチ、照明灯設置事業・中央公園便所新設事業										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	中央公園駐車場整備事業	武道館施設の建替後の跡地を駐車場整備として計画をしていたが、武道館所管課にて武道館建替の計画が停滞しており、計画期間中の整備が困難となったため。				なし					
		基幹事業	四街道駅北口広場再整備事業・四街道駅北口広場歩行者デッキ整備事業・四街道駅北口エレベーター設置事業・四街道駅北口シェルター、ベンチ、照明灯設置事業の工事	四街道駅北口広場再整備事業他3事業について、計画期間中に事業が凍結となり、5か年計画中の実施が困難となったため。				あり					
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-						
	変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	四街道駅北口広場の利用にあたって不満があると答えた人の割合	%	27%	H23	27%	R3	モニタリング	評価値	×	あり なし	計画期間中に実施したバブコメの結果、事業が凍結となったため、改修工事を行っていないことから、効果は発現していないと捉えた。	
	指標2	豪雨時の道路冠水による通行止め箇所数	箇所	7か所	H26	0か所	R3	-	0か所	○	あり なし	西中学校グラウンド・文化センター駐車場の地下に雨水貯留施設を整備することにより、大雨が降った際に下流の流下能力を超えた分の雨水が、地下に貯留できるようになるため、冠水の軽減につながった。平成29年3月より、令和4年1月現在に至るまで、概ね時間30mm以上の降雨があった日は5日であったが、道路冠水した日数は0であるため、目標値を達成したものと捉える。	
	指標3	耐震補強工事を実施した公共施設率	%	78%	H26	89%	R3	-	89%	○	あり なし	耐震性を有していない会館棟の耐震補強工事を実施したことにより、施設全体で耐震性の向上が図られ、多数の者が利用する施設の安全性を確保したため、目標を達成したものと捉える。	
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	四街道駅北口広場再整備に関するバブコメ実施 第一回バブコメを平成27年1月～2月に実施し、再整備案を提示したが、その後多方面からさまざまな意見をいただき、デッキに広場を設けること、シェルターの延長を伸ばすこととなったため、変更点について、平成28年10月～11月に第二回バブコメを実施したが、変更点に対する反対意見が多数あるとともに、事業そのものの反対意見も多数いただく結果となった。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				北口再整備事業の再実施に向け、準備を進める。						
持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

四街道駅周辺地区(千葉県四街道市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<p>・本地区は、四街道駅北側に位置しており、商業、業務、行政、文化教育施設が立地する中心市街地である。平成12年、大型店の郊外進出による商業の衰退、夜間人口の減少を抑え、中心市街地としての役割を果たすため、中心市街地活性化基本計画を策定し、大規模事業所と中学校移転による跡地を活用した市街地の土地区画整理事業を実施した。これにより、大型商業施設、都市型高層住宅が進出し、市の中心市街地「都市核」の形成が図られてきた。</p> <p>また、四街道駅から北へ延びる都市計画道路3.4.2号線は、松並木の保全と電線類地中化により、シンボルロードとして整備し、都市景観形成にも努めてきている。</p> <p>しかしながら、市の玄関口である四街道駅北口広場をはじめとする中心市街地内の各公共施設は、老朽化が顕著化しており、加えて、社会構造の変化による市民ニーズの多様化など、使い勝手のより良い諸施設の改善を望む声が多い。</p> <p>また、防災面では、群衆する公共施設の老朽化や耐震基準を満たしていないなど問題点を多く抱えている。さらには、近年、地球温暖化がもたらすゲリラ豪雨などにより、浸水被害が頻繁に発生している状況にあり、都市基盤の脆弱性が窺える。</p> <p>このような状況下において、今後、定住化のための住環境の整備、持続可能な経済活動の活性化、少子高齢化に対応した市街地の形成など生活に必要な諸施設の近接するまちづくり実現に向け、災害に強い安心安全なまちづくりを進め、魅力ある中心市街地としての役割を果たすため、本事業を活用するものである。</p>		駅前広場の利用不満足	単位：%	27%	H23	27%	R3	39%	R3
		道路冠水による通行止め	単位：箇所	7箇所	H26	0箇所	R3	0箇所	R3
		計画区域内の公共施設の耐震化	単位：%	78%	H26	89%	R2	89%	R2
			単位：		H		H		H
			単位：		H		H		H
			単位：		H		H		H
<p>四街道西中学校に地下貯留施設を設置し、時間30mm程度の降雨時に通行止めとしていた4路線の冠水が解消されました。</p> <p>対策前  対策後 </p> <p>四街道駅北口再整備の計画がございましたが、現在事業が凍結しております。</p> <p>南口にエレベーターを設置し、交通拠点として、更なるバリアフリー化を図り、利便性を向上させました。</p> <p></p> <p>文化センター駐車場に地下貯留施設を設置し、時間30mm程度の降雨時に通行止めとしていた3路線の冠水が解消されました。</p> <p></p>				<p>四街道文化センターの耐震工事を実施し、大規模地震に耐えられるよう補強し、文化センター利用者がより安全に利用できるようにしました。</p> <p>対策前  対策後 </p> <p>市の行事としてとても利用率の高い公園であり、従前では便所設置数が不足していたため、バリアフリーに対応した便所を新設し、市民の憩いの場として更なる利用促進を図りました。</p> <p></p>					
<p>【達成されたこと(課題の改善状況)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター地下貯留施設・西中学校グラウンド地下貯留施設を設置したことにより、大雨が降った際に下流の流下能力を超えた分の雨水が雨水貯留施設に一時的に流入するようになり、平成29年3月～令和4年1月までに時間30mm程度が降雨した日は5日であったが、通行止めとした箇所は0であった。 計画区域内の公共施設は9施設ある中、四街道市文化センター会館棟は耐震性能が低く、避難所として防災計画に指定できていなかった。市民サービス向上のため、文化センター会館棟耐震補強工事を実施し、大規模な地震に対して倒壊や崩壊の危険性の低い建物となった。 <p>【残された未解決の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四街道駅北口広場の歩道・一般車乗降場・バス乗降場・タクシー乗降場の改修は実施していないため、北口利用者の不満度が上がる結果となった。 									
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 西中学校に設置した地下貯留施設については、プラスチック製であり、内部の清掃が難しいことから、堆砂槽を設けており、定期的な堆砂槽の清掃を行うことにより、貯留施設内に砂の堆積を軽減させ、適正な貯留能力を維持していく必要がある。また、ポンプでの排水を行っているため、ポンプが壊れてしまうと貯留施設内の雨水は溜まりっぱなしになってしまうことから、定期点検を実施し、ポンプでの排水能力の維持に努める。 文化センター地下貯留施設については、施設内の清掃が可能のため、適時貯留施設内の堆砂等を確認し、維持管理に努める。 鉄骨ブレス等耐震補強工事を実施した箇所及び躯体について、施設の日常点検を実施し、劣化が著しい場合は延命化を図れるよう適宜修繕および予防措置を行い、避難所機能を確保できるための耐震性能の維持管理に努める。 平成28年10月～11月に実施した第二回パコメでは市全体の意見として、反対意見が多数であったため、事業凍結となった。平成23年11月に北口利用者を対象としたアンケートを実施したところ、歩道・一般車乗降場・バス乗降場・タクシー乗降場について利用に対する不満があり、令和3年12月の結果では不満は増加する結果となった。今後事業再開に向け、実施したアンケート結果を生かしつつ、さらに利用者のみを対象とした具体的な内容(施設別の満足度評価など)を訪ねる再アンケートを実施し、再アンケート結果の意見も参考に、現在の整備案を生かしつつ、市民に理解を得られるような整備案に改良し、事業再開を目指す。 							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		指標「四街道駅北口広場の利用不満度の減少」の数値目標について、従前値から10%まで減らせるよう目指す。	目標値を現況値のままに下方修正。	計画策定時は直線デッキによる駅前再整備を予定しており、市民の合意を得られていると判断し、事業を実施したが、実施期間中にデッキ形状の一部変更が生じたため、変更箇所について再度市民の意見を伺ったところ、変更箇所のみならず、事業そのものについても反対意見を多数いただいた。総合的に判断し、北口再整備事業について、議会による凍結が議決され、計画期間内の事業実施が困難となったため。
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	四街道駅北口広場再整備事業	162	A=4,900㎡	5.1	A=4,900㎡	北口再整備事業凍結により、事業実施が困難となったため。	計画期間中に事業実施が困難となったため、目標を達成できなかったことから、指標に影響あり。	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	文化センター駐車場地下貯留施設設置事業	482	V=2000t	431.8	V=2004t	竣工に合わせ、変更。	影響なし	●	
	文化センター改修事業	251	A=3685㎡	120.2	A=3685㎡	対象事業費の見直しを行ったため	影響なし	●	
	四街道西中学校地下貯留施設設置事業	270	V=3500t	207.3	V=3239t	竣工に合わせ、変更。	影響なし	●	
	四街道駅北口広場歩行者デッキ事業	178	L=61m	26.5	L=61m	北口再整備事業凍結により、事業実施が困難となったため。	計画期間中に事業実施が困難となったため、目標を達成できなかったことから、指標に影響あり。	●	
	中央公園駐車場整備事業	2	A=1500㎡	0	A=1500㎡	武道館跡地に駐車場整備予定ではあったが、計画期間中に武道館整備が困難となったため。	影響なし	●	
高質空間形成施設	四街道駅北口エレベーター設置事業	95	3基	8.3	3基	北口再整備事業凍結により、事業実施が困難となったため。	計画期間中に事業実施が困難となったため、目標を達成できなかったことから、指標に影響あり。	●	
	四街道駅南口エレベーター設置事業	40	1基	40.0	1基	変更なし	-	●	
	四街道駅北口シェルター、ベンチ、照明灯設置事業	65	一式	0.1	一式	北口再整備事業凍結により、事業実施が困難となったため。	計画期間中に事業実施が困難となったため、目標を達成できなかったことから、指標に影響あり。	●	
	中央公園便所新設事業	41	14便槽	41.1	14便槽		-	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1. 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
道路事業		大日五差路交差点改良事業	162	185	平成25年～平成27年	平成24年～平成30年	事業完了	
		四街道市西中学校武道場改修事業	89	68	平成27年～平成28年	平成27年	事業完了	
		市庁舎建替事業	4,064	5,460	平成26年～平成32年	平成29年～令和7年	事業実施中	
		図書館建替事業	158	未定	平成29年～平成30年	未定	未定	
		武道館建替事業	280	未定	平成27年～平成30年	未定	未定	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし
指標1	%	市民3000人に歩道・バス乗降場・タクシー乗降場・一般条項場	-	-	27	%	27	%	モニタリング		モニタリング			●
									事後評価	確定見込み ●	事後評価	×		
指標2	箇所	H29.3～R4.1までにゲリラ豪雨等、時間雨量30mm程度で通行止めとした路線	-	-	7	箇所	0	箇所	モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	事後評価	○		
指標3	%	四街道市耐震改修促進計画に基づき、区域内の公共施設9施設のうち、7施設のみが耐震化されているため、8施設にする。	-	-	78	%	89	%	モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	事後評価	○		
指標4									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み	事後評価			
指標5									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み	事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	四街道駅北口広場再整備が事業凍結となり、計画期間内に事業実施が困難となり、目標が達成できなくなったため。	-
指標2	平成29年3月より令和4年1月現在に至るまで、概ね時間30mm以上の降雨があった日は5日である内、道路冠水した箇所はないため、目標を達成した。	-
指標3	計画区域内の耐震化施設が8施設となったため、目標を達成した。	-
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

なし

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
北口再整備の変更点に関するパブコメ実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	計画中1回 平成28年10月17日～平成28年11月15日 第一回パブコメを平成27年1月～2月に実施し、再整備案を提示したが、その後多方面からさまざまな意見をいただき、デッキに広場を設けること、シェルターの延長を伸ばすこととなった。 変更点について、平成28年10月～11月に第二回パブコメを実施したが、変更点に対する反対意見が多数あるとともに、事業そのものの反対意見も多数いただく結果となった。	北口再整備事業の再実施に向け、準備を進める。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価に係る庁内検討会議	〈都市部〉土木課 〈経営企画部〉管財課 〈上下水道部〉下水道課	令和4年1月	都市部 土木課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2		指標3		指標○		指標○	
指標名		道路冠水による通行止め		計画区域内の公共施設の耐震化					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	四街道駅北口広場再整備事業	-	西中学校グラウンド・文化センター駐車場の地下に雨水貯留施設を整備することにより、大雨が降った際に下流の流下能力を超えた分の雨水が、地下に貯留できるようになるため、冠水の軽減につながった。平成29年3月より、令和4年1月現在に至るまで、概ね時間30mm以上の降雨があった日は5日であるうち、道路冠水した日数は0であるため、目標値を達成したものと捉える。	-	耐震性を有していない会館棟の耐震補強工事を実施したことにより、施設全体で耐震性の向上が図られ、多数の者が利用する施設の安全性を確保したため、目標を達成したものと捉える。	-		-	
	文化センター駐車場地下貯留施設設置事業	◎		◎					
	文化センター改修事業	-		-					
	四街道西中学校地下貯留施設設置事業	◎		-					
	四街道駅北口広場歩行者デッキ整備事業	-		-					
	中央公園駐車場整備事業	-		-					
	四街道駅北口エレベーター設置事業	-		-					
	四街道駅南口エレベーター設置事業	-		-					
	四街道駅北口シェルター、ベンチ、照明灯設置事業	-		-					
	中央公園便所新設事業	-		-					
提案事業									
関連事業	大日五差路交差点改良事業	-		-		-		-	
	四街道西中学校武道場改築事業	-		○		-		-	
	市庁舎建替え事業	-		○		-		-	
	図書館建替え事業	-		-		-		-	
	武道館建替え事業	-		-		-		-	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も降雨時に雨水の貯留を行い、文化センター周辺および西中学校周辺の道路冠水解消に努める。	災害発生時には避難所機能を活用しながら、文化振興施設として市民サービスの向上に努めていく。		
-------	---	---	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標Ⅰ			指標○			指標○			指標○			
指標名		駅前広場の利用不満足												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	四街道駅北口広場再整備事業	××	計画期間中に実施したパブコメの結果、事業が凍結となったため、改修工事を行ってないことから、効果は発現していないと捉えた。	Ⅲ										
	文化センター駐車場地下貯留施設設置事業	-												
	文化センター改修事業	-												
	四街道西中学校地下貯留施設設置事業	-												
	四街道駅北口広場歩行者デッキ整備事業	××												
	中央公園駐車場整備事業	-												
	四街道駅北口エレベーター設置事業	××												
	四街道駅南口エレベーター設置事業	-												
	四街道駅北口シェルター、ベンチ、照明灯設置事業	××												
中央公園便所新設事業	-													
提案事業														
関連事業	大日五差路交差点改良事業	-												
	四街道西中学校武道場改築事業	-												
	市庁舎建替え事業	-												
	図書館建替え事業	-												
	武道館建替え事業	-												

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>平成23年に実施したアンケート結果では、北口を利用する人を対象に実施したアンケート結果では、歩道・一般車乗降場・バス乗降場・タクシー乗降場の施設の現状の不満が多かった。上記事項の改善案を公表した。平成27年1月～2月に実施した第一回パブコメでは反対意見は1件のみであった。平成28年10月～11月にデッキに広場を設けることとシェルターを増設することに対するパブコメを実施したところ、上記2案は反対であるとともに再整備計画そのものの反対意見が市全域では多数あったため議会にて凍結を議決。令和3年12月、再度北口を利用する人を対象に市民アンケートを実施すると、歩道・一般車乗降場・バス乗降場・タクシー乗降場の利用不満足はさらに上がった結果となった。今後事業再開に向け、実施したアンケート結果を生かしつつ、さらに利用者だけに特化した具体的な内容で再アンケートを実施し、再アンケート結果の意見も参考に、現在の整備案を生かしつつ、市民に理解を得られるような整備案に改良し、事業再開を目指す。</p>
------------------	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価に係る庁内検討会議	〈都市部〉土木課 〈経営企画部〉管財課 〈上下水道部〉下水道課	令和4年1月	都市部 土木課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
市の玄関口として、さらなる魅力を高めるために狭小の歩道の拡幅や段差の解消、歩行支援施設の設置などバリアフリー化し、合わせて老朽化したシェルター、照明など諸施設を再整備することにより、社会構造の変化による市民ニーズに応え、人々が集まるポテンシャルを活かした交通結節点にふさわしい拠点整備を行う必要がある。	なし	四街道駅北口広場の歩道・一般車乗降場・バス乗降場・タクシー乗降場の改修は実施していないため、北口利用者の不満度が上がる結果となった。	
多機能が集積する中心市街地内において、ゲリラ豪雨などに有効な雨水貯留施設を整備することにより、浸水を防ぎ、都市災害に強いまちづくりを進める必要がある。	文化センター地下貯留施設・西中学校グラウンド地下貯留施設を設置したことにより、大雨が降った際に下流の流下能力を超えた分の雨水が雨水貯留施設に一時的に流入するようになり、平成29年3月～令和4年1月までに時間30mm程度が降雨した日は5日であるうち、通行止めとした箇所は0であったため冠水解消を図ったと捉えた。		
行政機能が集積する本地区の各公共施設の耐震化や改修を行い、多様化する市民ニーズに応えるとともに、防災市民サービスの向上を図る必要がある。	計画区域内の公共施設は9施設ある中、四街道市文化センターは耐震性能が低く、避難所として防災計画に指定できていなかった。防災市民サービス向上のため、文化センター耐震工事を実施し、大規模な地震に対して倒壊や崩壊の危険性が低い建物となった。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	必要な貯留量の維持。 排水ポンプの維持。	西中学校に設置した地下貯留施設については、プラスチック製であり、内部の清掃が難しいことから、堆砂槽を設けており、定期的に堆砂槽の清掃を行うことにより、貯留施設内に砂の堆積を軽減させ、適正な貯留能力を維持していく必要がある。また、ポンプでの排水を行っているため、ポンプが壊れてしまうと貯留施設内の雨水は溜まりっぱなしになってしまうことから、定期点検を実施し、ポンプでの排水能力の維持に努める。 文化センター地下貯留施設については、施設内の清掃が可能のため、適時貯留施設内の堆砂等を確認し、維持管理に努める。	貯留施設清掃事業 排水ポンプ点検・維持修繕事業
	耐震性能の維持管理	鉄骨ブレス等耐震補強工事を実施した箇所及び躯体について、施設の日常点検を実施し、劣化が著しい場合は延命化を図れるよう適宜修繕および予防措置を行い、避難所機能を確保できるための耐震性能の維持管理に努める。	文化センター施設維持修繕事業

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	現状不満度が高い、歩道・一般車乗降場・バス乗降場、タクシー乗降場の改善及び改善実施に向け、市民アンケート実施及び事業凍結の解除。	・平成28年10月～11月に実施した第二回パブコメでは市全体の意見として、反対意見が多数であったため、事業凍結となった。平成23年11月に北口利用者を対象としたアンケートを実施したところ、歩道・一般車乗降場・バス乗降場・タクシー乗降場について利用に対する不満があり、令和3年12月の結果では不満は増加する結果となった。今後事業再開に向け、実施したアンケート結果を生かしつつ、さらに利用者のみを対象とした具体的な内容(施設別の満足度評価など)を訪ねる再アンケートを実施し、再アンケート結果の意見も参考に、現在の整備案を生かしつつ、市民に理解を得られるような整備案に改良し、事業再開を目指す。	四街道北口利用者調査事業 四街道駅北口再整備事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	四街道駅北口広場の利用不満足度の減少	%	27	H23	27	R3	確定 ●	39	×	あり	●			
							見込み			なし				
指標2	道路冠水による通行止め箇所の減少	箇所	7	H26	0	R3	確定 ●	0	○	あり				
							見込み			なし				
指標3	計画区域内の公共施設の耐震化率の向上	%	78	H26	89	R2	確定 ●	89	○	あり				
							見込み			なし				
指標4				H		H	確定			あり				
							見込み			なし				
指標5				H		H	確定			あり				
							見込み			なし				
その他の数値指標1				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標2				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標3				H			確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	市民アンケート調査時に不満の要因となる施設を設問として入れることで、各施設の不満度を把握し、自由意見を設けることで、具体的な改善案を作成することができた。	事業再開の際は北口利用者のみを対象とした調査も実施し、より具体的な意見を参考に、現在の整備案を生かしつつ、市民に理解を得られるような整備案を改良し、事業再開を目指す。
	うまく いかなかった点	アンケート実施方法について、住民基本台帳による無作為抽出にて行ったため、評価対象となる有効回答が一定数となった。、利用者だけのアンケートを実施することで、今以上の回答数及びさまざまな意見を取り入れることができたのではと思われる。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		アンケート等で実施した意見等を的確に把握し、また、災害時の現場の状況も的確に把握し、次回の街づくりの目標設定に整合性を図れるよう努める。
	うまく いかなかった点	なし	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	市民アンケートを行うことで、北口利用者の意見を取り入れ、パブコメを実施することで、市民全体の意見を参考に、整備案等の作成ができた。	
	うまく いかなかった点	なし	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	効果発言要因や今後のまちづくりの方針について、関係各課と検討することで幅広く意見をうかがうことができた。	次期計画時も、多方面から幅広く意見を聞き、より正確に事業を進めるよう努める。
	うまく いかなかった点	なし	
その他	うまくいった点	なし	
	うまく いかなかった点	なし。	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページにより公表	令和4年2月24日～令和4年3月10日	令和4年2月24日～令和4年3月10日	メール受付 窓口受付 郵送受付 FAX受付	都市部 土木課
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	佐藤 徹治教授(千葉工業大学) 白井 清氏 矢澤 裕氏	令和4年3月28日	都市部 土木課	-	-
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書の内容は適正である。
	成果の評価	・数値目標は事後評価時に達成状況や事業効果が把握しやすいものを設定する必要があり、今回の計画ではそれが配慮されていた。
	実施過程の評価	・計画の進捗状況を把握するため、中間に少なくとも1回はモニタリングを行ったほうが良い。 ・駅北口再整備を実施するに当たっては、第二回パブコメの事業反対の理由を十分解析する必要がある。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理は適切に行われている。駅北口再整備の事業再開にあたっては、パブコメの反対意見十分に解析・検討することが必要となる。
	事後評価原案の公表の妥当性	・市民への公表は適切に行われていた。
	その他	-
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは適切に行われていた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・市の玄関口となる駅の利便性や快適性向上のために駅北口の再整備を行うことと、災害復旧や復興の拠点となるべき市役所の耐震性確保(建替)のどちらを優先するべきかの検討を十分に行う必要がある。全国で災害が頻発している最近の状況をふまえて判断すべきである。 ・雨水の地下貯留施設の機能維持のためには、十分な維持管理のため継続的な予算措置が必要となる。 ・豪雨時の道路冠水による通行止めの解消について、時間30mm程度の降雨を対象としているが、気候変動が原因と思われる近年の異常気象を踏まえ、さらなる降雨量の場合についても検討することが望ましい。 ・公共施設の耐震補強工事について、避難所機能確保・維持の観点から、四街道駅周辺地区だけでなく、市内全域において、点検・整備を行うことが望ましい。 ・四街道駅北口広場の整備について、平成28年10月～11月に実施したパブコメにおいて寄せられた整備計画反対の意見を踏まえ、慎重に整備計画の改良を行うことが望ましい。 ・駅北口再整備の事業再開にあたっては、利用者調査の際、バス乗降場、タクシー乗降場などの施設別に、それぞれの利用状況と利用者の満足度(5段階評価)など、より具体的な設問をすべきである。
	フォローアップ	-
	その他	・コンパクトで都市機能が高い中心市街地形成のためには、継続的な課題解決が求められる。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であるが、駅北口再整備は慎重な対応が必要である。
その他	-	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
-	-	-
-	-	-

有識者の意見	-
--------	---